

## ふじさわ市民共同発電所 1号機の移設について

### お詫びと今後の対応

理事長 宮地 俊作

日頃より、私たちの事業にご支援を戴き感謝申し上げます。

さて、1号機を設置していたマンションオーナーが交代になり、新しいオーナーと昨年7月から交渉を重ねて来ましたが、継続使用を断られてしまいました。

それ以降、移設先を探して様々な方々に協力をお願いしてきましたが移転先は見つからず、今年1月末に断腸の想いで発電装置を一時撤去することになりました。

屋根借契約時における不十分な確認により、出資者の方々にご心配をお掛けしていることをお詫びいたします。今後は、できるだけ早く移設先を決められるように努力しますので、ご理解とご協力をお願い致します。



### 撤去作業と仮置場所

1月30日に会員及び「ちがさき自然エネルギーネットワーク」の皆さん、合計10人が参加して撤去作業を行いました。2時間ほどでパネル関係の撤去は終了しました。

屋上から撤去した資材は仮置しています。仮置き場は、会員の石井正美さんのご協力をいただきました

**移設先を探しています。是非ご協力をお願いします**

上記の様な事情から、1号機の発電設備を屋上に設置出来る建物を探しています。次の条件に当てはまりそうな建物に心当たりがある方は、奥付けの所にご連絡下さい。

### 移設先建物の条件

1. 鉄筋コンクリートの建物で高さは4階建くらいまで、マンションの例では3-4階建、世帯数12戸以上建物の大きさで言えば、幅18m奥行き10mくらいあれば、間に合います。

2. 屋上の広さの目安： 約150平方メートル以上、

3. 建物の種類： 個人所有の賃貸マンション（所有者が複数の分譲マンションの場合は難しい）、企業の事務所、工場、社宅、従業員宿舎、保養施設、商業ビル、私立の幼稚園、保育園、福祉施設、病院、学校など。

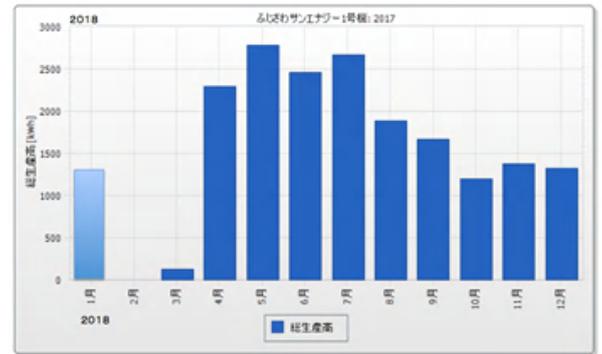
4. 建物の周囲環境と屋上の状態： 太陽光発電は「日当たりがよいこと」が大切なので、四季を通じ、また日の出から日没まで、屋上に影を投げかける様な高い建物や林が近くに無いこと。（北側にある場合なら問題ありません）

また、屋上庭園など既に利用されているとか、屋上に何か大きなものが設置されている場合は、その日陰を避けて太陽光パネルを設置する事になり、その分余計な面積が必要です。エアコンの室外機は業務用の大きなものでない限り問題無いでしょう。

★ 注意して頂くこと： 建物の所有者が企業や団体でなく個人の場合は、まず当法人事務局にご連絡ください。

# 1号機の発電量について

1号機の発電量はオンラインで常時把握していました。  
 設置からの約10ヶ月間で18,900kW/hを発電していました。  
 隣接するFM電波塔の影の影響が少しありましたが、計画値よりは約1割多く発電していました。



総発電量(2017年3月～2018年1月) 18,900kW/h  
 (シミュレーション・データ 17,290kW/h)

## 一時撤去の経過と移設先探し

継続使用を断念して以来、移転先を探し始めました。出資者・  
 会員説明会で「期限を切って移設等を検討すること」を要請さ  
 れました。3月現在では藤沢市内での移設先を探しています。

これまで、生協、福祉施設、建設会社、学校関係などを中心に声かけをし、前向きな返事を頂いたところも複数  
 ありましたが、諸般の事情でまだ見つかっていません。

なお、1号機の設置から撤去までの経過は概略以下の表の通りです。

日時	内容
2016/12/29	太陽光発電設備の設置に必要な建物屋上の賃貸契約をM社と締結
2016/3/4-5	太陽光発電設備のD10方式設置工事
2017/03/28	電力会社の配電系統に接続 売電開始
2017/04/03	破産管財人から「発電設備の撤去要請通知」を受取る これにより初めて知った事：2016年11月15日に建物所有者が破産していた事 所有者は契約したM社代表ではなく、その親族名義であった事
2017/06/28	建物の新所有者OHRM社（不動産業者）より「発電設備を撤去して頂きたい」 との連絡を受ける
2017/07/14	OHRM社の本件担当者（2名）との第1回話し合い要旨： ◆現在発電設備の撤去が必要な防水工事をすぐ始めるという状況ではない ◆設置を継続するには会社上層部を納得させる条件を提示する必要がある
2017/09/08	OHRM社より「全面撤去」のメールを受ける
2017/09/15	OHRM社担当者（前回と同じ）との第2回話し合い： 当方より話し合い継続を要望、OHRM社側からは「年末までに撤去」の要請
2017/10/15	OHRM社に「賃料の値上げ、あるいは設備買取り」を提案
2017/12/14	OHRM社に12月末の撤去期限を1月末に変更する様依頼（後日同意を得た）
2018/01/14	出資者と会員に以上を説明するための説明会開催
2018/01/30	1号機を撤去し会員の農園に仮置



## 「日本と再生」上映会と河合監督の講演

2017年5月21日ミナパーク6階ホールにて、市民立発電所一号機完成記念の上映会を開催しました。開催にあたっては、藤沢市と城南信金の後援をいただきました。

二回の上映で、100名を超える来場者があり、サンエナジーを知ってもらう良い機会になりました。

世界のエネルギーは再生可能エネルギーにシフト

していることがよくわかり、河合監督の力強いお話に再生可能エネルギーを進めていく勇気をいただきました。

また日本の各地で進められている市民立発電所の広がりもよくわかり、一号機完成記念にふさわしい上映会でした。

## 講座「自然エネルギーの光と影」

2017年9月30日に「自然エネルギーの光と影」をテーマにミナパーク会議室で講演会を開催しました。講師は、山下紀明氏（認定NPO法人環境エネルギー政策研究所）です。約30名の参加がありました。

日本国内の太陽光発電の累積導入量は、2016年度末の発電構成に占める太陽光発電量の割合で示すと4.4%を占めるまで増加しました。

一方、伊豆高原など各地で、メガソーラー等に対する反対運動が起きています。大都市の資本が、地域住民の合意を得ないまま、景観や自然にダメージを与えてしまう様なメガソーラー計画に対する反対運動の例が増えています。

全国で起こっているトラブルの実例を聞き、地域に住んでいる人が理解を深め、その計画に参加出来る仕組みを作ることの重要性について理解を深めました。



## 第22回 ふじさわ環境フェアに出展しました



## 第22回ふじさわ環境フェア参加

ふじさわ環境フェア2017は藤沢市民会館を中心に去る12月9日（土）に開催されました。

オープニングイベントには鈴木市長の挨拶や寸劇がありました。参加は46団体（20市民団体（協同組合・社団法人含）、1大学、17企業、8行政）で、当日の来場者は3,600名を越えました。

ふじさわサンエナジーは「太陽光発電のパネル組立実演」と学習会「電気イロイロ（使い方・買い方・作り方）講座」を市民会館第三会議室で行いました。

【展示】 太陽光発電パネルの組立実演では、市民参加で設置が出来るDドームの実物を持ち込み、参加者に実際に太陽光パネルに触ってもらい、組立の体験をして頂きました。



この展示は、たまエンパワー(株)、(株)太陽住建のご協力で実現しました。

### 【講座】

環境フェアの会場で「電気の使い方、買い方、作り方イロイロ講座」を開催しました。講座の内容は「電気を減らす、電気会社を選ぶ、電気を作る、電気を溜める」ことの基礎的な話をしました。家庭で出来る具体的な取組みについても紹介しました。

### 【編集後記】

◎『世界がエネルギー転換に向かう中で、日本の立ち遅れが顕著になっている。日本は、東日本大震災以降、固定価格買取制度の導入や電力システム改革の推進などのエネルギー政策を進めてきた。一方、気候変動の影響が年々厳しさを増す中で、各国はパリ協定が求める脱炭素社会の実現に向けて、産業・経済・社会の変革を強く推し進めている。その速度は、日本を遥かに上回っており、世界との差は拡大している。』

◎ 上記の文章は、どこに書かれたものだと思いますか？ 外務省の「気候変動に関する有識者会合」のエネルギーに関する提言の冒頭です。政府全体がこの提言に沿ってエネルギー・シフトして欲しいものです。(廣瀬)



### 発行

一般社団法人 ふじさわサンエナジー

電話: 090-6186-0452 FAX: 0466-81-4853

メール: [fujisawasunenergy@gmail.com](mailto:fujisawasunenergy@gmail.com)

ホームページ: <http://fujisawasunenergy.sblo.jp/>